

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

保育園番号	66-1035
園名	さんい保育園有明

1. 活動のテーマ

<テーマ>

秋の自然に触れ、収穫の喜びを味わおう

<テーマの設定理由>

これまでのすくわく活動では、お芋の歌を歌ったり新聞紙で掘りたい芋の成形をしたりしながら、芋掘り遠足に向けての関心を育んできた。実際に畑で芋掘り体験をすることで、収穫する喜びや自然の恵みへの感謝の気持ちを持ってほしいと感じたため。

2. 活動スケジュール

- ① バスで出発（バス乗車時はシートベルトの確認を行い、安全運転を最優先する。定期的に子どもたちの表情を観察し、乗り物酔いしていないか確認したり、必要に応じて声がけをした。）
- ② 芋掘りスタート（掘る位置を確認し、分かるように線を引いた。土や虫が苦手な子、疲れやすい子など、それぞれの様子に合わせて無理のないよう支援する。）
- ③ 昼食（出発前に球体の物が入っていないか確認し、必要に応じてカットをしている。全員におやつを配り、その場で食べきれない子にはバスで食べても良い旨を伝える。）

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

- ・子ども用の手袋を数セット用意。(実際に手袋を持ってきていない児が何人かいた)
- ・芋掘り後に手を洗う用のタンク(手袋をしていても土汚れがある。泥水はまるファームの方が土に全て流しても良いと言ってくださったため、土に流した)
- ・芋を持って帰る際に入れるビニール袋(袋に名前を書いて誰のものか分かるようにした)
- ・大きな芋を掘り出した児には、「すごいね!」「見せて!」と周りのお友だちが集まり、喜びを共有していた。
- ・後日、収穫の喜びや気づきを振り返る時間を持ち、感じたことを絵や言葉で表現することを共有できるよう促した。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

すくわく活動で育んだ期待が実体験に結び付き、「大きいの掘れたよ!」「いっぱい掘れた」と喜ぶ姿が多く見られた。

異年齢の関わりの中で「手伝うよ」「たくさんとれたね」と声をかけあう姿があり、思いやりの気持ちが育っていた。